

# 令和2年度防衛関係予算のポイント(概要)

○ 令和2年度の防衛関係費(※)は、**5兆3,133億円**を計上。

※中期防対象経費、SACO・米軍再編、政府専用機、臨時・特別の措置(防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策)に係る経費の総額。

○ 中期防対象経費については、「中期防衛力整備計画」(中期防)を踏まえ実質+1.1%の伸び率を確保し、消費税影響分も含め、**5兆688億円**を措置。宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域における能力の強化など、多次元統合防衛力の構築を推進するとともに、原価の精査、仕様の見直し等の装備調達の最適化や、重要度の低下したプロジェクトの見直しを徹底。

○ 新規後年度負担については、将来における予算の硬直化を招かないよう総額を抑制しつつ、**2兆5,633億円**を計上。うち中期防対象経費は、中期防で規定された新規契約額の上限(17兆1,700億円程度)を踏まえつつ、防衛力整備の効率化・合理化を徹底し、**2兆4,050億円**を措置。

総額：5兆3,133億円 (+559億円、+1.1%)

<b>臨時・特別の措置(国土強靱化)</b> 508億円(+0億円)
<b>SACO・米軍再編経費</b> 1,937億円(+2億円)
<b>中期防対象経費</b> 5兆688億円 (+618億円、+1.2%) (注)消費税影響額を除くと+1.1%

※政府専用機:0.3億円(▲61億円)

## 《新規後年度負担》

	令和元年度	令和2年度	増減額
総額	2兆5,781億円	2兆5,633億円	▲149億円
中期防対象経費	2兆4,013億円	2兆4,050億円	+37億円

※2年度の新規契約額(3.4兆円)は、中期防に定めた新規契約額の上限(17.17兆円)の年平均額3.43兆円の枠内。